

全国大学病院輸血部会議技師研究会

不規則抗体検査の算定に 関する調査

2020/10/22
アンケート調査担当
岡山大学病院輸血部 浅野 尚美

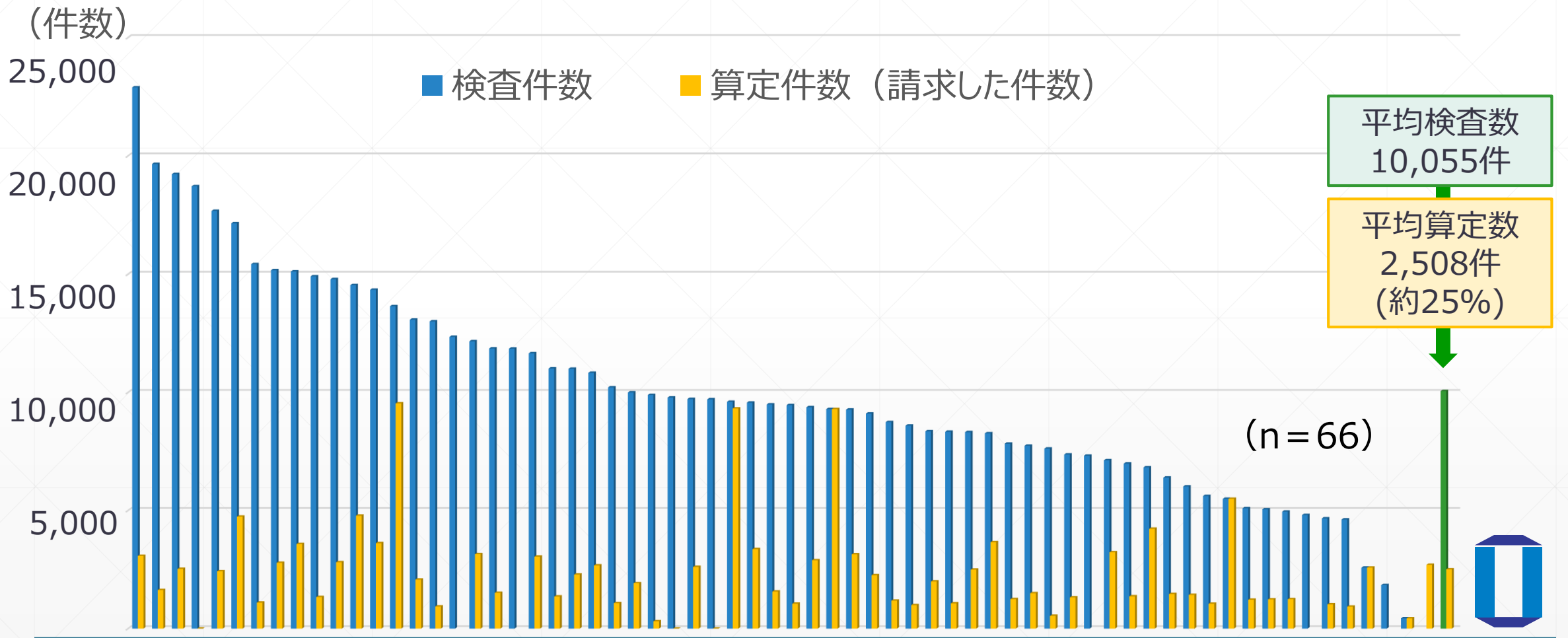


概要

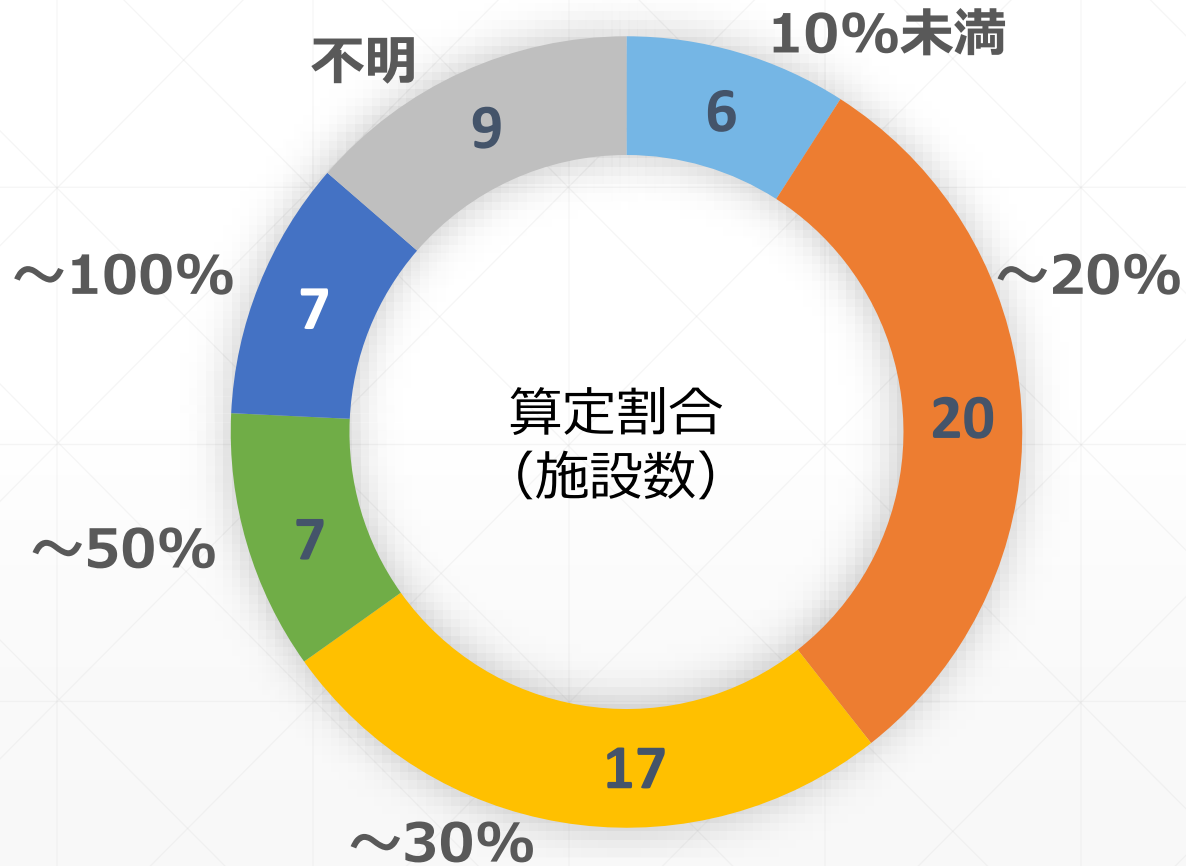
ご回答いただきました各施設の皆様、
お忙しい中ご協力いただき、ありがとうございました。

- 回答施設数：66施設
- 調査項目
 - 不規則抗体検査件数および算定件数に関連する事項
 - 不規則抗体の有効期限について
 - Rh（その他の因子）血液型検査について

不規則抗体検査件数と算定件数



検査数に対し算定されている割合



- 検査数に対する算定割合は、30%未満の施設が大半を占めている

| 期 間 | 施設数 |
|----------|-----|
| 2019年 | 60 |
| 2019年度 | 3 |
| 不 明 | 3 |
| (n = 66) | |

不規則抗体の点数

D011 免疫血液学的検査

■ 159点

- 輸血歴又は妊娠歴のある患者に対し、胸部手術、心・脈管手術、(中略)が行われた場合に、手術の当日に算定
- 手術に際して輸血が行われた場合は、本検査又はK920輸血の「注6」に定める不規則抗体検査加算のいずれかを算定する

DPC包括算定により
算定できない場合あり

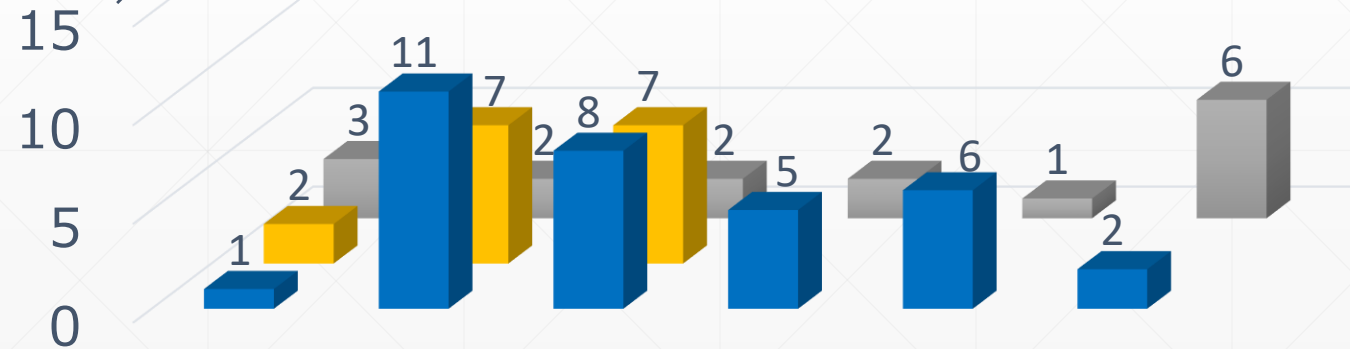
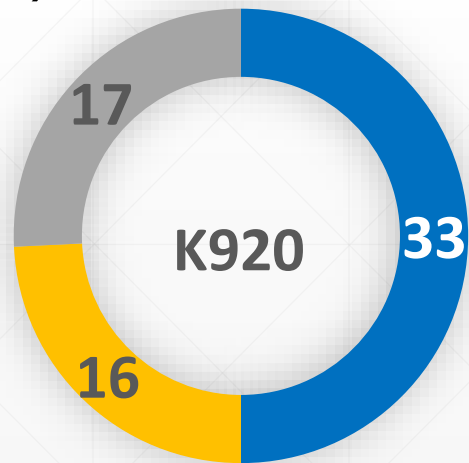
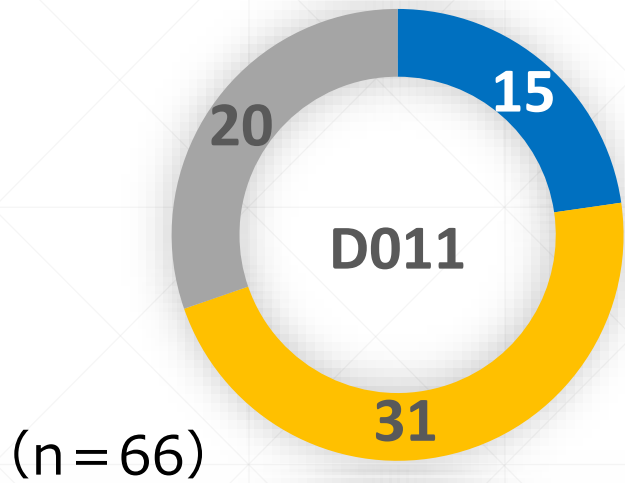
K920 輸血 (注6)

■ 197点

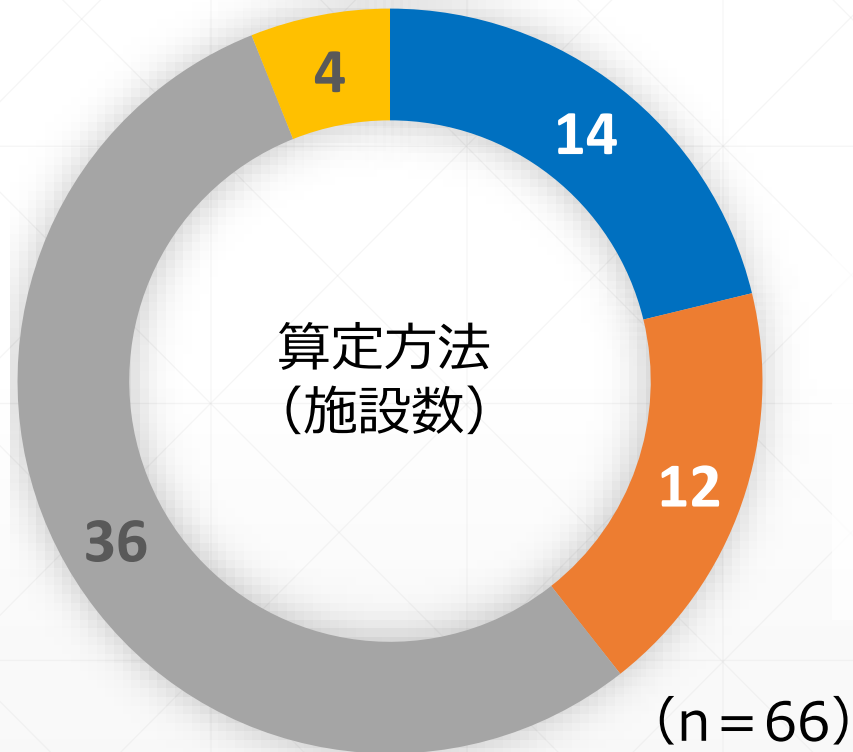
- 不規則抗体検査の費用として検査回数にかかわらず1月につき197点を所定点数に加算する
- 頻回に輸血を行う場合にあつては、1週間に1回に限り197点を所定点数に加算する

↓
週1回以上、**当該月**で
3週以上にわたり行われるもの

算定できていると感じるか？



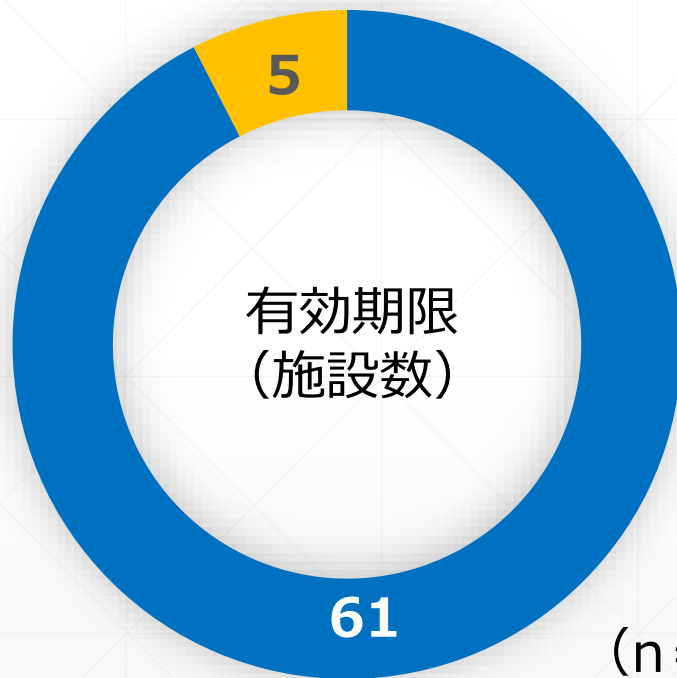
不規則抗体算定の方法



- 1. システムのみ
- 2. 医事課職員等による計算のみ
- 3. システム+医事課職員等による計算
- 4. その他

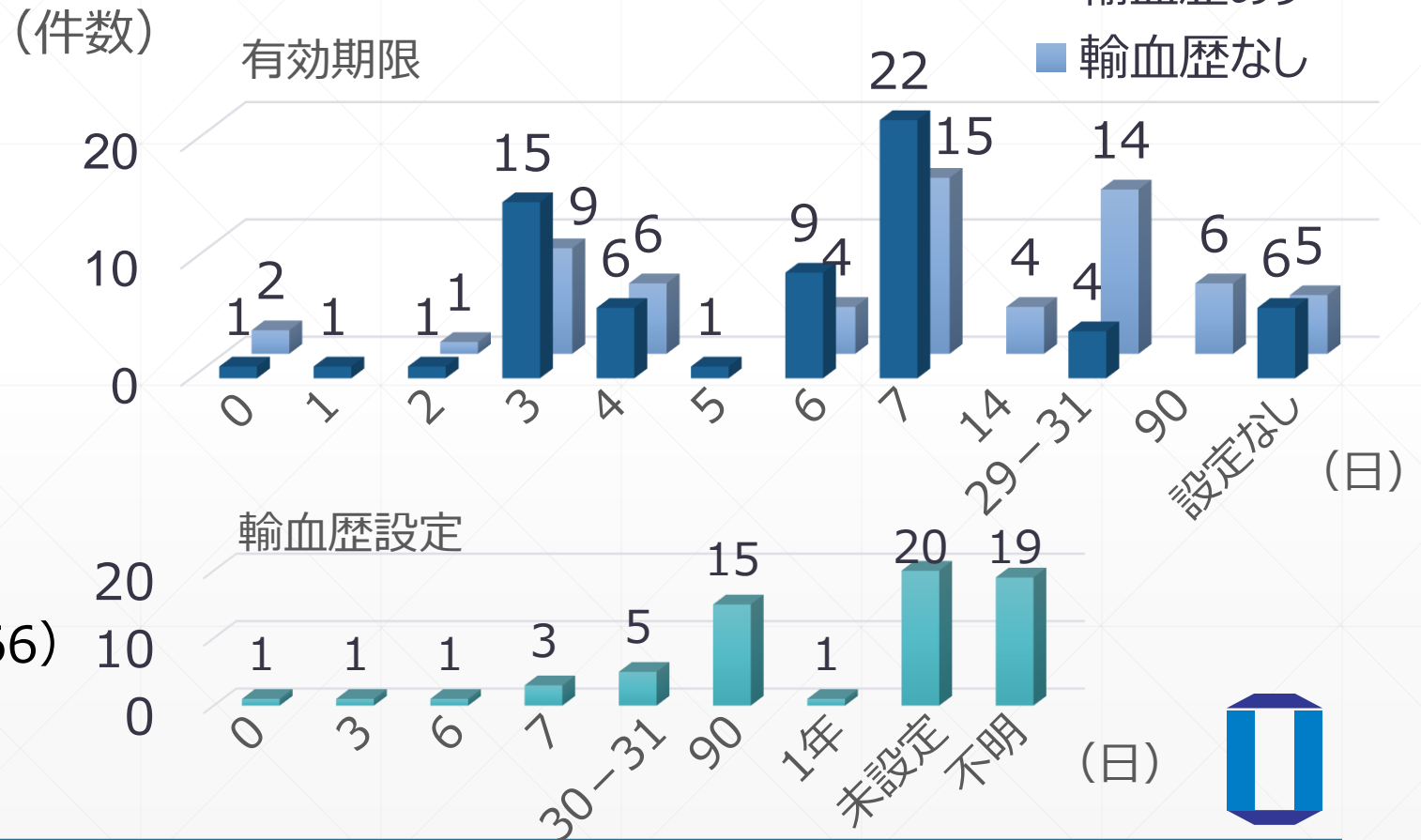
- オーダーがあれば算定
- 不明
- 空白

不規則抗体検査の有効期限設定



■ している ■ していない

(n = 66)



指針・ガイドライン

輸血療法の実施に関する指針

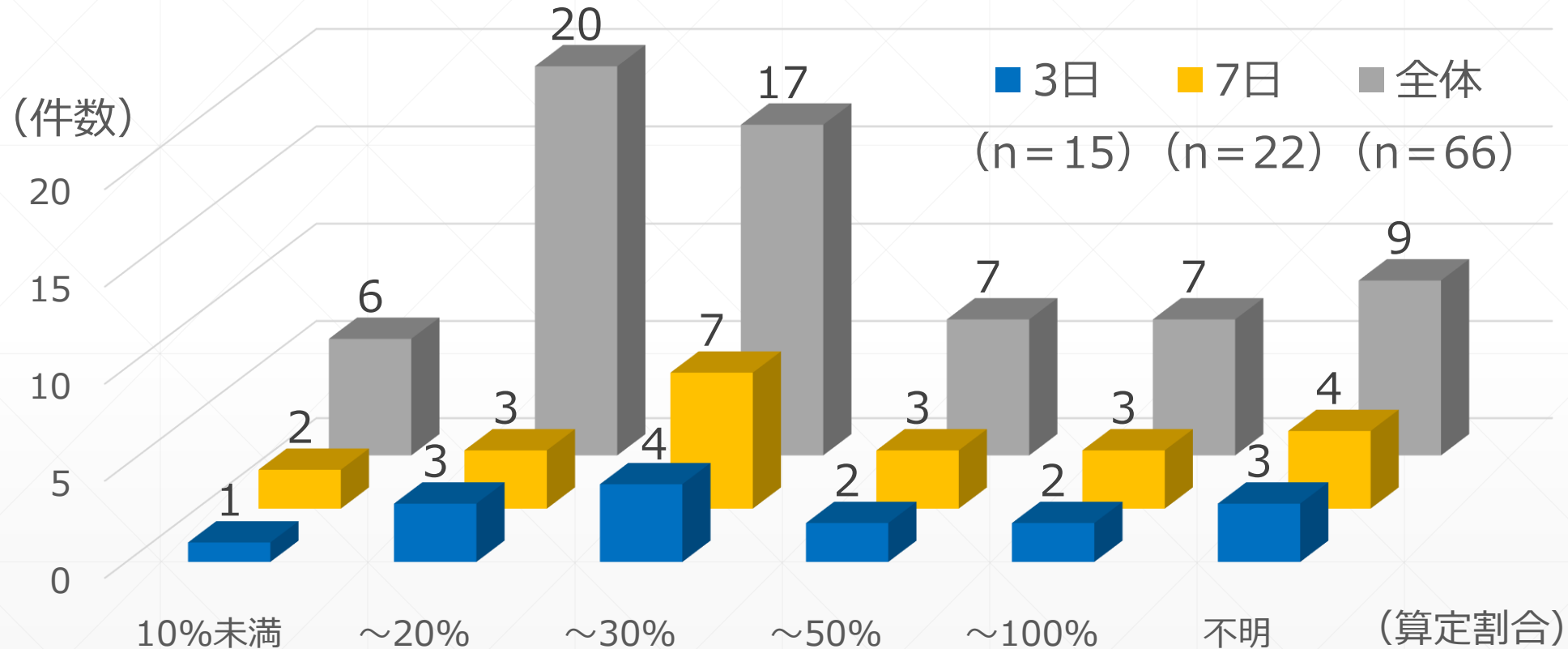
- 頻回に輸血を行う患者においては、**1週間に1回程度**不規則抗体スクリーニングをおこなうことが望ましい

概ね、指針・ガイドラインに沿って
期限設定が行われている

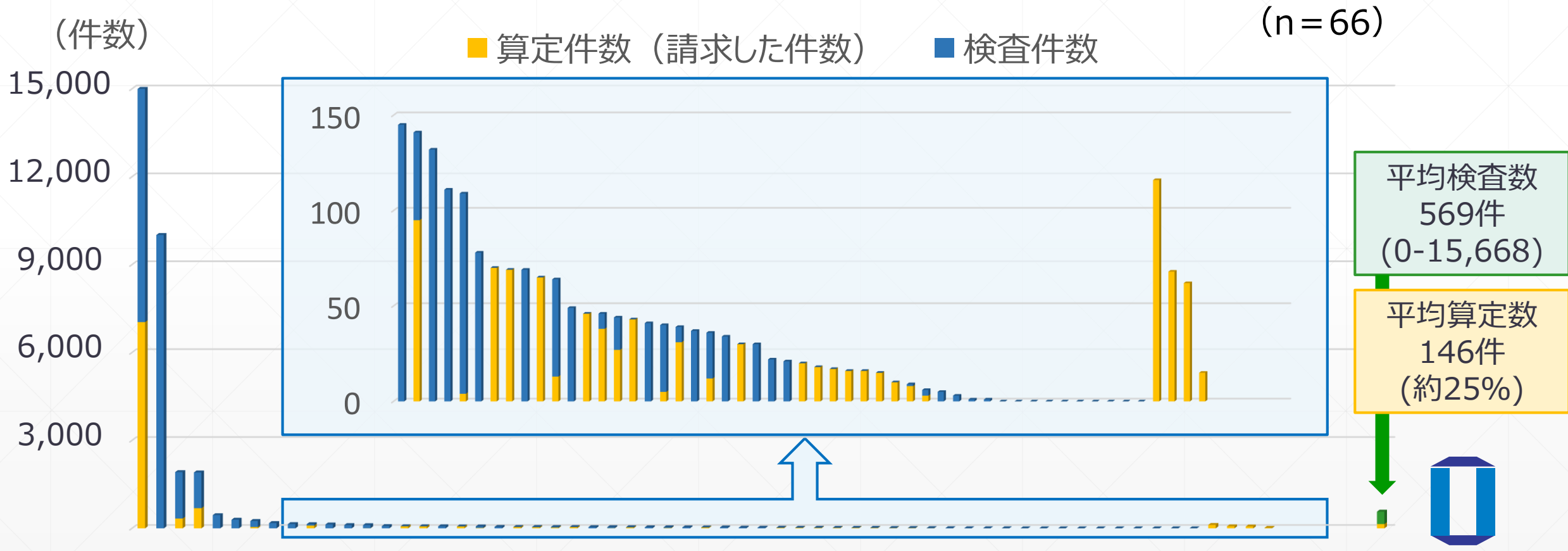
赤血球型検査（赤血球系検査） ガイドライン（改訂2版）

- 連日にわたって輸血を受けている患者では、**少なくとも3日ごと**に検査用検体を採血する
- 過去**3カ月以内に輸血歴あるいは妊娠歴のある患者**では、輸血予定日に先立つ3日以内を目安に検査用検体を採血する

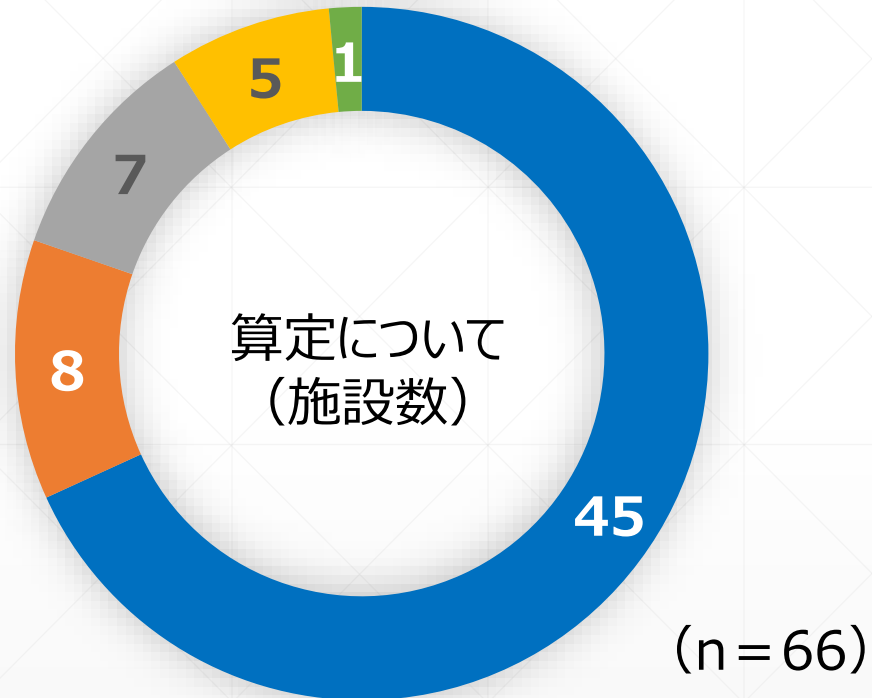
不規則抗体有効期限と算定割合



Rh (その他の因子) 血液型



不規則抗体同定検査等に伴う Rh（その他の因子）血液型の算定



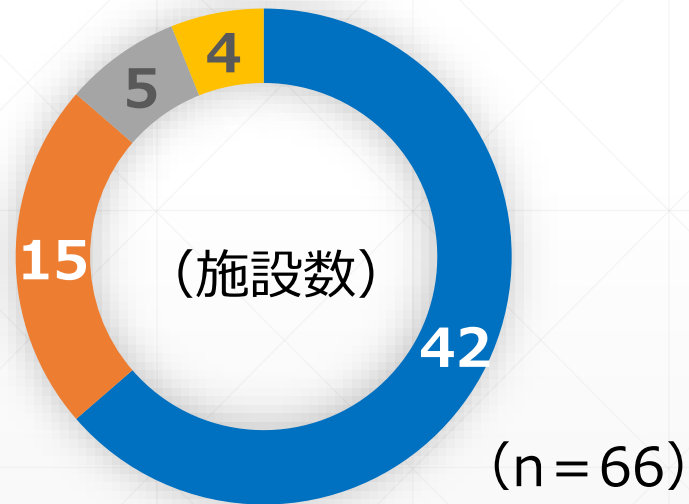
- 算定していない
- 検査後、医師依頼
- 検査後、検査部門依頼
- その他
- 不明

- 算定していない施設が大半を占める
- その他の回答
 - 入院患者・RhD陰性患者の血液型検査依頼時のみ請求
 - 不規則抗体同定検査依頼セットに含む
 - 今年度より検査部門で依頼を発行
 - 検査目的と算定基準が不透明であり、査定等を踏まえ算定しない方針



コンピュータクロスマッチと手術用RBC準備

- コンピュータクロスマッチのみで輸血した割合



■ 0% ■ ~50% ■ ~100% ■ 不明

- 手術用赤血球製剤の事前準備について



■ すべてT&S法
■ 交差適合試験とT&S法
■ すべて交差適合試験

まとめ

- 不規則抗体検査件数に対する算定件数は、30%未満が大半を占めていた
- 不規則抗体検査の算定は、D011 (免疫学的血液検査)は算定できていない、K920(輸血)は算定できていると感じている施設が多かった
- 不規則抗体検査の有効期限設定は様々ではあったが、3日と7日が多く、概ね指針およびガイドラインに沿って期限設定が行われていた
- Rh(その他の因子)血液型検査は、検査件数に差があり、不規則抗体同定検査等に伴う場合は算定していない施設が大半を占めていた